

長浜曳山まつり

歌舞伎の子役が贅沢に装飾された移動式ステージで演じる、18 世紀から毎年開催されている活気ある春の祭りです。祭りの期間、華やかに装飾された曳山の行列は、歌舞伎を演じるために途中でとまりながら、市内の中央商店街を通して長浜八幡宮まで引かれていきます。

曳山と呼ばれる車輪付きのステージは、金箔や複雑な木彫り、神社のそれに似せた曲がった屋根で装飾されています。役者は 6 歳から 12 歳までのアマチュアですが、衣装、音楽、制作レベルはプロ級です。若い役者の、若々しい激しさと生の感情は、彼らのパフォーマンスのハイライトと考えられています。毎年、12 のうち 4 つの曳山ステージがローテーションで登場し、バナーと装飾用の剣で飾られた三輪の曳山とともに登場します。

市内中心部の狭い通りを通して曳山を引っ張ることはそれ自体が偉業です：曳山はそれぞれ 6～9 メートルの高さで、重さは 5～6 トンにもなります。お祝いの伝統的な服を着た若い男性(そして最近では女性)のグループが肉体的に厳しいその仕事を引き受けます。祭りは 4 月 9 日から 17 日まで行われ、歌舞伎公演は 13 日の夜、14 日の朝、15 日から 16 日にかけて行われます。